

令和7年度 第2回佐久市英語教育推進委員会 会議概要

日時：令和8年1月30日（金）

午後2時～午後3時まで

場所：佐久市役所南棟3階 大会議室

1 出席者

神津会長、飯島副会長、仲沢委員、西村委員、吉澤委員、マーク委員、
金森委員、大西委員 8名（小林委員 欠席）

（事務局）平林学校教育部長、藤巻学校教育課長、井出学務係長、小林

2 議事

（1）第3回英語授業担当者部会の報告

（2）佐久市英語教育推進計画（素案）について

ア 基本計画及び具体的な取組

イ 数値目標の設定

（3）計画策定のスケジュール

（4）その他

ア 英語教育におけるAIの活用に関する意見交換

3 協議内容、いただいたご意見等

（1）佐久市英語教育推進計画（素案）について

ア 基本計画及び具体的な取組

【明確な lesson goal の設定と feedback の実施】

（素案 p. 11 A 授業改善）

- ・レッスンゴールへのふりかえりは大切だが、feedback は毎時間行う必要なく、単元末や、3～4時間ごとのふりかえりでもよい。現場の負担も軽くなるのでは。

【Small Talk や帯活動の継続や充実】

（素案 p. 11 A 授業改善）

- ・「授業開始時に英語のリズムを作るために、…」の部分、リズムの表記が現場に伝わりやすくなるよう、見直したらどうか。
「授業開始時にこのやりとりになれ親しむため…」や「授業開始時に英語を話す雰囲気を作るため…」の方が伝わりやすい。

【小学校高学年から英語検定など外部試験の受験の奨励】

(素案 p. 12 A 授業改善)

- ・英検 IBA を行えば、英語力を測定することができ、子ども自身のフィードバックにつながる。500円でテストができ、英検取得のプレテストにも活用できる。子どもが、自身の英語力の現況を知れる機会となる。
- ・受検費用の補助は、合格者へのキックバックも検討したらどうか？
英検合格者の懸垂幕の提示など、受験者の意識の底上げに期待したい。

イ 数値目標の設定

【A 言語活動を中心とした授業の実施】

(素案 p. 17 数値目標の設定について)

- ・数値目標の設定の内容はよい。この数値が独り歩きしないように注意したい。子どもにアンケート、意向確認をする機会をつくるのはどうか。英語に対する子どもの意識を継続的に測ることで、本計画の運用の評価にもつながるのでは。

【B 共通の目標を持った小中連携の実施】

- ・校種間交流（手紙・ビデオレター及び出前授業の実施）の数値について、市内小中学校の全校での実施が望ましく、目標が100%でもよいのではないか？
➡（事務局）
出前授業の本年度実績の21校中9校42.8%を踏まえた数値を設定した。

【E 英語を使う機会の創出】

地域英語協力者の授業参加校について、地域英語協力者の人数減っているため、これを単独の指標にするのは難しく感じる。

人員の範囲を広げるなど、外部人材、地域素材の活用数を含めたり、また、ICT やオンラインの活用数を含めるなどの検討はどうか？

➡（事務局）

基本計画 P16（E 生活環境）の記載内容との整合も大切と考えている。ICT やオンラインの活用は、E 生活環境の項目から外れてしまう。地域英語協力者は減っている中ではあるが、市教委としても、この事業を大切にしたいという気持ちの表れでもある。

(3) 計画策定のスケジュール

計画案については、佐久市教育委員定例会へ諮った上で、令和8年4月～11年度まで計画期間として運用を開始する見込。

また、令和8年度からの学校現場における本計画の具体的な運用について、公立小中学校の学校長が出席する校長会や、英語授業担当者部会並びに佐久市学事職員会外国語活動・外国語委員会への情報共有を図り、本計画の運用に関する調整を進めていく。

4 その他

ア 英語教育におけるAIの活用に関する意見交換

- ・ AI 導入している学校では、AI 活用により現場の負担が大きくなるなど、実際のところAI の活用に困っている事例もある。
- ・ AI の導入にあたっては、目指す子どもの姿に対し、必要なものであるか検討をしてもらいたい。
- ・ 発話練習のAI を活用したブラッシュアップはよいと思う。
ただ、モチベーションの高い子どもは、上手く活用ができるが、低い子どもはなかなか扱えないかもしれないので、子どもが自主的に学習できるものがよい。
- ・ 英語授業の現場では、「AI は使えないのか？」という声もあるが、既にデジタル教科書にて、発話の練習は行うことができる。今は調べなくても、AI 翻訳にて英文を変換できてしまう時代。AI をどのように活用していくのがよいか、学校現場においても考察が必要であると感じる。
- ・ AI は話すことには有効と思うが、書くことについては、弱いと感じた。AI の特徴を活かした活用を検討していく必要がある。

(閉会)